

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		デイサービスセンターなかま				公表日		2026年3月5日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9						
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	職員が不足している時は、他部署からの応援により対応しています。	法令が必要とされる配置数は確保していますが、個別対応のお子様が増えつつあるため、十分とは言えないと感じる時があります。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9						
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9						
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		支援開始前に職員間でミーティングを行い、共通理解を深めるようにしています。	ミーティングに参加できない職員にも、情報が共有できるように努めて参ります。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		評価表を基に会議を行い、職員全員で話し合い改善点を抽出しています。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		支援するうえで気になる点が出てきた際には、その都度職員間で話し合っています。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		9	現在、第三者による外部評価は実施していません。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9						
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		ホームページにて公表しています。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		定期的のアセスメントを行い、子供の変化をその都度確認し、個別支援計画を作成しています。				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		計画期間ごとにモニタリングを行い、利用者や保護者の意向を取り入れた支援計画を作成しています。				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		子供たちの日々の様子を職員間で話し合い、課題に応じた支援方法をチームで立案しています。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		担当制により一人ひとりの行動観察を行い、活動の様子を記録しています。				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		定期的のアセスメントを行ったうえで、保護者の意向や子どもたちの特性に合わせた支援計画を作成しています。				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		ミーティングでは複数の職員が様々な視点で子供たちの行動や心理面を捉え、支援方法や活動の進め方を検討しています。				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		子どもたちが楽しいと思い、意欲的に参加できる内容を考え設定しています。				

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		子どもの発達段階に応じた個別、集団における課題をみつけ、個別支援計画に反映させています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		その日の支援内容や役割分担について確認する機会を設け、子どもたちの状況や変化を職員全員が把握できるようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		他者との関わり方、集団活動、学習課題の取り組み等、一人ひとりに応じて計画しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		職員間で共有したことや、活動の様子を個人ファイルに記録し、モニタリング等に役立てています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	8	1	ガイドラインに沿った内容で、一人ひとりの社会生活を見据えた支援を行っています。	施設外での遊びや体験の機会を創出しながら、社会経験の幅を広げていけるよう努めて参ります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		日々のプログラムに加え、子どもたちの意見を取り入れながら支援しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		行事予定や下校時刻、送迎時の対応等は学校や保護者の方と情報を共有しています。	保護者からお休みの連絡がない場合があり対応が遅れることがあります。学校や保護者に連絡し再確認しています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	9		今後必要があれば検討して参ります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9			今年度、茶話会を開催しています。ご家庭の都合で参加者は少なかったのですが、今後も実施を検討して参ります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		送迎時に、活動の様子をお伝えし、状況に応じて家庭での様子を確認したりしています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	9	現在実施していません。		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9			支援プログラムは今年度よりホームページにて公表しています。契約時には運営規程等と共に説明させていただきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		面談時に本人や保護者のニーズを聞き出し、それに基づいた支援を行っています。	個別面談やモニタリングに、子どもと一緒に参加できるよう努めています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		随時、電話やメール等でも相談を受け付けており、支援方法など提案しています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	9		今年度、茶話会は実施しています。兄弟同士での交流の機会に関しては、要望があれば検討していきます。	今後も保護者交流の場として茶話会等の実施を検討していきたいと考えています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		苦情相談マニュアルを作成しています。契約時に、苦情に関する相談窓口を案内し、適切な対応ができるよう努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		定期的になかま通信を発行し、子供たちの活動の様子を写真を掲載してお知らせしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		状態に応じて視覚支援等を用いて意思疎通を行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	7	小さな事業所であるため、地域住民を招待するような行事は考えていません。	地域の中の事業所として、可能な形で開かれた事業運営に努めて参ります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		火災、地震、不審者等の避難訓練を定期的に行っています。必ず訓練の振り返りを行い、子どもたちの様子を保護者にお伝えしています。	保護者全体への周知に努めて参ります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		法人全体の自然災害時の業務継続計画は策定されています。	現在、各部署での計画の作成を進めています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		薬等の必要な場合、保護者より頂いた情報を基に、服薬やてんかん発作時の対応方法を確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		現在、対象となる子どもはおりません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		9	今年度より事業所安全計画を作成し、計画に基づいて訓練や施設・設備・環境等の安全点検に努めています。	保護者全体への周知に努めて参ります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9				